

平成29年度 設置計画履行状況等調査の結果への対応について

平成30年2月23日、文部科学省より、設置計画履行状況等調査の結果が公表されました。このたびの本学が指摘を受けた是正意見等を真摯に受け止め、対応に向けた検討を進めておりますのでご報告申し上げます。

本学の経済学部金融学科、社会学部社会学科につき「推薦入試においては、自ら定めた入学定員に沿って適切な入学者選抜を行うとともに、大学全体としても適切な定員管理を行うこと」等との是正意見が付されました。

本学では、設置計画履行状況等調査で指摘を受けた内容の早急な改善に向け、学長リーダーシップのもとに全学を挙げて取り組んでいるところでございます。前述の適切な定員管理のほか、是正・改善意見等を付された内容も速やかに改善すべく体制を整えました。

なお、定員を超過して学生を受け入れることとなりました学年につきましては、ゼミナール及び外国語科目のクラス数を増やし、ひとクラスあたりの人数を従前と変わらぬ規模で運営しております。また、総合科目の追加開講をするなどして教育の質を下げることのないよう配慮しております。

在学生、受験生および保護者の皆さま、高等学校の先生方、卒業生の皆さまには、たいへんご心配をおかけいたしました。

対応がすべて完了しました時点で、速やかに詳細をご報告申し上げます。

武蔵大学
学長 山寄哲哉